

令和3年度 市政運営の基本方針

市議会定例会の初日(3月1日)に、白井市長が市政運営の基本方針を、山下教育長が教育施策推進の基本的考え方を表明しました。その概要をお知らせします。



昭島市長 白井伸介

はじめに

私は昨年10月、市民の皆様から信任を賜り、引き続き市政運営を担うことになりました。4年前に市長に就任して以来、飛耳長目(※1)をモットーに現場主義を貫き、自らの目で課題の本質を見極める中で取り組んできた市政運営、まちづくりにより一定の評価をいただけたものと受け止めております。自らに課せられた使命と責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。



新年度を迎えるにあたり、改めて初心に立ち返り、市民の皆様

様の声に耳を傾け、決しておこ

り組んでまいります。引き続き、市議会並びに市民の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

昨年を顧みて

戦後最大の危機とも言われる新型コロナウイルス感染症への対応に追われた年であり、市の伝統行事や多くのイベントも開催を見送るなど、これまでにな

い一年となりました。さまざまなか場面において対応を迫られてきました。皆様の命と健康、生活を守るために、全力を挙げ取り組んでまいりました。皆様には、不安な思いを抱えつつも感染拡大防止に対応いただいていることに感謝を申し上げます。同時に、感染リスクと向かい合い、日々奮闘しておられる医療従事者をはじめ、エッセンシャルワーカー(※2)の皆様

次第です。

引き続き、安全・安心な生活環境を確保するとともに、地域経済活動の回復に向けた支援策を講ずるなど、感染防止と経済活動の両立に向け最大限努力します。また、市民の方をはじめ、企業や地域団体なども連携を深めて取り組みを推進するなど「ステークホルダー」の視点をより一層大切にしながら、施策展開に努めます。

また、子どもたちの安全を最優先に、小学6年生の移動教室と中学3年生の修学旅行を中止しました。しかし、卒業を迎える皆様に思い出づくりがでないかとの思いから、市内ホテルを活用した行事を企画しました。小学6年生の宿泊行事では、コ

ロナ禍での学校生活を強いられる子どもたちから笑顔があふれ、「もつと昭島を大好きになる」との言葉をかけられた時には、涙を抑えることができませんでした。多くの保護者から感

し、グリーン社会の実現を目指すとしています。

国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)における、クリーンエネルギーの利用、気候変動への適応、生物多様性の保全など環境面のごまごまなゴールを見据え、世界的な取り組みと歩調を合わせながら、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進します。



本年は東日本大震災から10年が経過しますが、この間、全国各地で自然災害が幾度となく発生しています。「災害は忘れたころにやってくる。備えあれば憂いなし」を念頭に、最悪の事態を想定して防災・減災のための対策を講じ、地域強靱化を推進します。

本市の財政の見通しについては課題が山積しており、かつて経験したことのない厳しいものと予測されますが、最少の経費

謝の言葉が寄せられ、子どもたちの思い出づくりにならざるに過ぎないと感じています。コロナ禍にあつて明るい話題もありました。本市を象徴する施設となるアキシマエンスのオープンです。図書館機能を中心とした知の拠点、多文化共生の推進や国際交流の拠点、教育と福祉の連携拠点として、その魅力を最大限発揮し、多くの方に愛着や親しみを持って利用していただけるよう努めます。



平和への思い

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。私も、悲惨な戦争を忘れてはならない、繰り返しはならないと思うとともに、戦争の惨禍を次世代にしっかりと伝えていくことが重要である

と、改めて強く思います。

一方、我が国を取り巻く安全保障環境は、先行きが不透明な世界情勢とあいまつて、厳しい状況が続いています。日米地位協定に基づき提供・運用されている米軍基地は、平和と安全に大きな役割を果たしていると考えていますが、昨今、航空機による騒音の測定回数が増加しています。航空機の飛行実態など周辺環境への影響を把握するとともに、騒音や事故の危険など基地に起因する諸問題の解決に向け、都や周辺市町との連携を基軸に対応します。

国・都の新年度予算案

我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の影響による景気の急激な低迷から抜け出せず、感染症の動向に大きく左右され、更に厳しさが増すことも想定せざるを得ない、たいへん厳しい状況です。

国の予算案では、感染拡大防

策展開を支える財政基盤の構築を図ったものです。

一般会計及び特別会計の予算総額は81億9288万6000円です。

新型コロナウイルス感染症によるかつてない深刻な景気低迷の影響で、市税の大幅な減収が見込まれます。これに伴う財源不足については、基金の取り崩しと市債の借入れによる補てんに頼らざるを得ない、非常に厳しい編成作業となりました。

主な施策

こつとした状況下でも、地域特性を活かした施策を積極的に展開し、新たな時代要請への対応に取り組みむ中で、目指すまちづくりを推進します。

心ゆきかうあきしま 明るい地域社会の形成

3年度予算における主な施策について、第五次総合基本計画の施策体系に沿って申し上げます。

市政運営に当たっての基本方針

私は市長就任以来、まちづくりの普遍的な理念である人間尊重に基づき、人種や性別、価値観などの違いにかかわらず、一人ひとりの尊厳を大切に、多様性を認め合える地域社会の形成に努めるとともに、社会経済状況の変化を的確に捉え、恐れることなく、時代の変化に対応できる、柔軟な発想の施策展開に努めてきました。

地域特性や地域資源を活用し、多摩地域の中核都市にふさわしいまちとして更に発展させるとともに、次期総合基本計画

の策定も視野に、新たな時代にふさわしいまちづくりを推進します。

新型コロナウイルス感染症への対応については、命と健康、日々の生活を守ることを基本として、PCR検査センターの運営など、感染拡大防止に最大限注力します。ワクチンの接種については、既に庁内体制を整備し、医師会などの医療関係団体と連携し、着実に準備を進めています。迅速かつ円滑な対応に努め、市の責務をしっかりと果たします。

この感染症への対応を契機とした新しい生活様式を構築するため、社会全体のデジタル化が求められており、国はデジタル庁、都はデジタルサービス局を創設し、取り組みを加速するとしています。

本市としても、市民の利便性向上と市役所業務の効率化を両立するため、行政のデジタル化を強力にけん引する組織体制を構築し、スピード感を持って取り組みます。

世界的に環境意識が高まる中、国は2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロに

引き続き、安全・安心な生活環境を確保するとともに、地域経済活動の回復に向けた支援策を講ずるなど、感染防止と経済活動の両立に向け最大限努力します。また、市民の方をはじめ、企業や地域団体なども連携を深めて取り組みを推進するなど「ステークホルダー」の視点をより一層大切にしながら、施策展開に努めます。

また、子どもたちの安全を最優先に、小学6年生の移動教室と中学3年生の修学旅行を中止しました。しかし、卒業を迎える皆様に思い出づくりがでないかとの思いから、市内ホテルを活用した行事を企画しました。小学6年生の宿泊行事では、コ

最大の効果を挙げるよう、財政の健全化と持続可能な行財政運営に努めます。

また、市職員が一丸となって、社会の変化に柔軟に対応していくため、経営感覚と危機管理意識を備えた人材の育成を図り、組織力の向上につなげます。

教育に対する基本的な考え方

総合教育会議を通じて教育委員会と市長部局が連携し、責任ある教育の実施に努めます。

また、国のGIGAスクール構想として、子どもたち一人ひとりに最適化されたICT環境(※3)を提供し、ICTを活用した教育施策の充実に努めます。

子どもたちの成長をしっかりと支え、昭島の未来、我が国の未来を担う人材の育成に全力で取り組みます。

予算編成の大綱

これらの基本方針に基づく令和3年度予算は、厳しい財政環境や社会経済情勢の変化、新たな時代の要請を的確に捉え、国

や都からの補助金などの特定財源の確保に努めつつ、堅実な施

想定し、災害対策の充実・強化に努めます。

また、市民交流センターの更新については、災害時の避難所機能なども備えた市民総合交流拠点施設として、令和7年の開設を目指して整備を進めます。

ともに支え合うあきしま健康と福祉の充実

「人は生まれながらに平等である」を旨に、誰もが健康でいきいきと生活できるように、福祉サービスの充実を図ります。

保育園の待機児童解消に向け、園舎の改築などを計画的に実施し、安心して子どもを預けられる環境整備に努めます。また、子どもや若者を取り巻く課題や実態の把握に努め、育成支援を推進し、社会の宝である子どもたちの健やかな成長につなげます。



国民健康保険、介護保険、後高齢者医療については、市民の生活を支えるセーフティネットとして、安定した制度運営に努めます。

なお、本年度は介護保険料の見直しの時期です。コロナ禍における市民生活への影響を踏まえると、苦渋の選択ではありましたが、必要なサービスを適切に提供するため、最低限の見直しをさせていただきました。ご理解をお願いいたします。

未来を育むあきしま教育文化・スポーツの充実

学校給食共同調理場については、安全・安心な学校給食を安定して提供することを念頭に、防災・食育の役割も備えた施設として整備します。

文化芸術の振興については、観光、まちづくり、教育、産業、福祉など幅広い分野と連携して、総合的に施策を推進するため、改正された文化芸術基本法の趣旨を踏まえた新たな基本計画を策定し、心豊かな活力ある地域社会の形成につなげます。

環境をつなぐあきしま循環型社会の形成

かけがえのない宝である水と

緑に恵まれた環境を未来に引き継ぐため、あらゆる側面から施策を推進します。2050年までに地域の温室効果ガス排出量を実質ゼロとすることを目指し、人と環境が調和したまちづくりを進めます。

可燃ごみ処理については、清掃センターの修繕計画を実施し、環境にじゅうぶん配慮した運営を継続します。また、今後の処理手法の具体的な将来像を描く第一歩として、基本調査を実施します。

ごみの減量・資源化については、更なる取り組みを推進するとともに、コロナ禍におけるごみ量などへの影響を踏まえ、事業系ごみ搬入手数料の改定を検討します。

また、市内4駅の駅前ロータリーに設置した給水スポットの供用を開始します。更に、給水



スポットと同じデザインのボトルカバーと、あきしまの水ボトル缶を小・中学生に配布するなど、使い捨てプラスチックの削減に向けたプラスチックマイナス1運動※4を積極的に展開します。併せて「深層地下水100%の安全でおいしい水のまち昭島」をPRします。

基盤を築くあきしま快適な都市空間の整備

自然災害に強い都市基盤の整備をはじめ、ユニバーサルデザイン※5や地域環境との調和にも配慮した、潤いとゆとりのある道路空間を確保するなど、快適な都市空間を整備します。

安全・安心な住環境の確保に向け、空き家対策を講じるほか、ブロック塀の撤去工事などの費用を補助します。

立川基地跡地昭島地区については、国営昭和記念公園と一体となった緑の空間が整備されるよう、関係機関などに積極的に働きかけます。併せて、東中神駅周辺の市街地とも一体となり、賑わいと活気のある、本市の東の玄関口としてふさわしいまちづくりを進めます。

中神土地区画整理事業につい

ては、現在取り組んでいる第二工区駅前ブロックの確実な推進を図ります。また、事業の長期化によりご不便をおかけしている地権者の皆様のご意向を受け止め、事業のあり方についての検討を更に深めます。

下水道事業については、下水道総合計画に基づく施策の推進と施設の長寿命化に努め、浸水のない安心して暮らせるまちづくりを推進します。また、経営戦略に基づく持続可能な事業運営と経営基盤の強化にも努めます。

躍動するあきしま産業の活性化

コロナ禍において深刻な影響を受けた中小企業などへの支援を引き続き実施し、事業の継続や地域経済の回復に努めます。また、関係機関と連携して必要な施策を迅速に講じるなど、市内産業の活性化に努めます。

※4 生活のあらゆる場面で使い捨てプラスチックを一つずつ減らすことを心掛ける、昭島市が提唱する取り組み

※5 障害の有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインする考え方

官民連携の更なる推進のため、まちづくり企業サミットや実務者レベルの情報交換会の開催に向けて準備をします。地元企業などにもご協力をいただきながら、職住近接のまちづくりを進めます。

水道事業

本市の宝である深層地下水100%の安全でおいしい水道水を、将来にわたって安定供給していくため、第二次水道事業基本計画に基づく施策を着実に推進し、経営基盤の強化に努めます。

また、深層地下水流動調査を引き続き実施し、水源地や水脈の究明に取り組みます。



おわりに

新型コロナウイルス感染症に端を発した諸課題をはじめ、人口減少・超高齢社会の構造的課

題など、本市を取り巻く行財政環境は、かつて経験したことのない厳しい状況が続くことが想定されます。こうした難局に直面した今こそ、冒頭に申し上げたステークホルダーの精神が求められていると考えています。フランスの経済学者ジャック・アタリ氏は「人類のサバイバルの力ギは利他主義である」と提唱しています。また、歴史を振り返ると、6世紀に伝来した大乗仏教は「自利利他」※6を理想とし、江戸時代の思想家は「富の主は天下の人々なり」と唱えました。近江商人の「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三万よしの精神も、ステークホルダーを大切に考えるうえであります。私としても、先達の教えに学び、この難局を全力で乗り越えてまいります。そして、危機を乗り越えた後においても、こうした考えに則して、多様性と意外性のある楽しいまち昭島の実現を目指してまいります。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



学校教育

児童・生徒が個性や能力を伸ばし、人生を切り拓いていくこ

令和3年度教育施策推進の基本的考え方



教育長 山下秀男

未だ収束が見通せない新型コロナウイルス感染症は、教育を取り巻く環境にも多くの影響をもたらしました。学校では、臨時休校、行事の中止や規模縮小、部活動の休止など、さまざまな対応に迫られる中、試行錯誤を繰り返しながら、感染防止対策に万全を期したうえで教育活動を進めています。

このような中でも、引き続き、第2次昭島市教育振興基本計画に基づき教育施策を着実に推進してまいります。

確かな学力の定着

中学校の新学習指導要領が全面実施されることに伴い、新たな教科書に対応した教師用のデジタル教科書を導入します。また、中学校において先行実施している大学教授などの授業観察による教員の授業力向上アドバイザー事業を、小学校1校にも導入し、教員の指導力向上を図ります。

個に応じた支援の充実

特別支援教育の充実を図るため、中学校の情緒障害等通級指

とができるよう、心身ともに健全・健康で、知・徳・体の調和のとれた、そして、ふるさと昭島の自然と文化を愛し、社会に主体的に貢献できる「たくましい昭島っ子」の育成に努めます。

また、児童・生徒が学んで楽しい、先生が教えて楽しい学校づくりに邁進します。

教員の働き方改革

教員が全力で教育にあたることのできるよう、スクール・サポート・スタッフや、教員のICT機器の活用を支援するICT支援員を全小・中学校に配置するほか、部活動指導員を全中学校に配置し、教員の働き方改革に引き続き取り組みます。

教育環境の整備

国のGIGAスクール構想として、児童生徒に一人一台の端末を配置し、併せて通信ネットワークを整備します。また、小学校では1学級の人数を段階的に35人以下とする定数改善を、着実に推進します。

また、引き続き、小学校4校、

※6 他人を幸福にすることで自分も幸せになるといふこと

令和3年度予算が決まりました 一般会計予算は431億4500万円

予算の概要

一般会計と特別会計は表1、公営企業会計は表2のとおりです。一般会計の予算額は431億4500万円で、前年度と比べて1億1300万円(0.3%)減少しました。歳入・歳出の内訳は下のグラフのとおりです。

表1 3年度一般会計・特別会計予算額

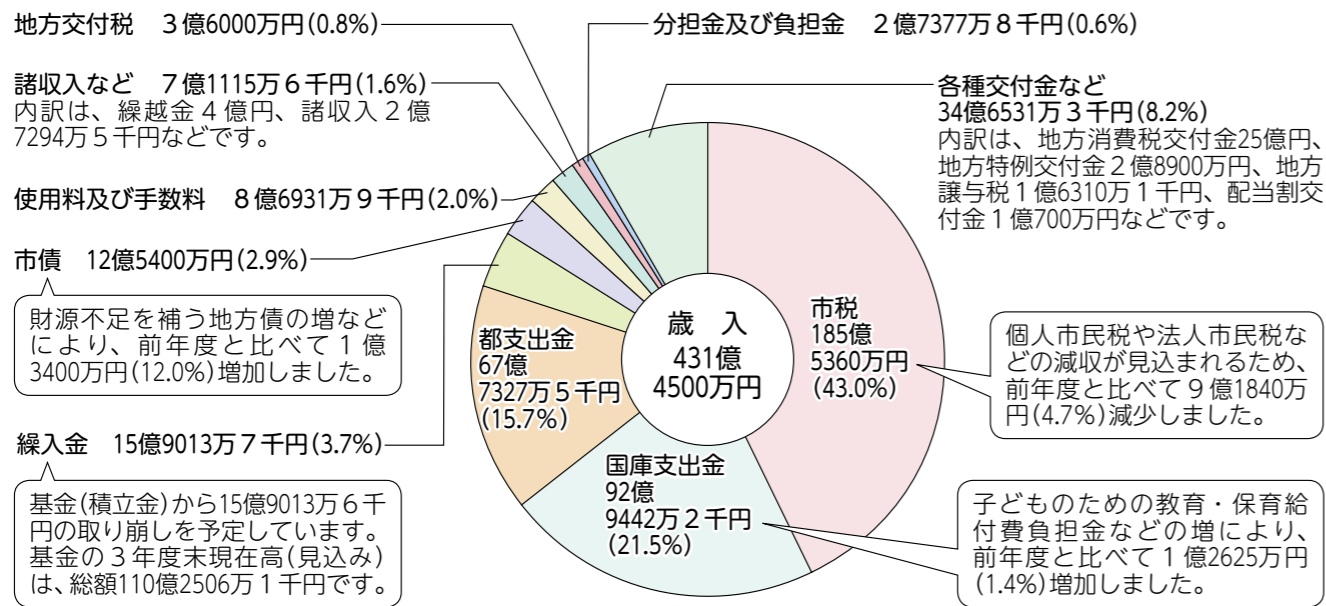
会計名	当初予算額(前年度比)
一般会計	431億4500万0千円 (0.3%減)
特別会計	
国民健康保険	119億5600万0千円 (0.8%増)
介護保険	100億4409万0千円 (8.3%増)
後期高齢者医療	26億129万3千円 (3.3%増)
中神土地地区画整理事業	4億4650万3千円 (43.6%増)
小計	250億4788万6千円 (4.5%増)
合計	681億9288万6千円 (1.4%増)

表2 3年度公営企業会計予算額

区分	当初予算額(前年度比)	
	収入	支出
水道事業	収益的収入・支出 18億9178万9千円 (4.5%減) 資本的収入・支出 805万2千円 (17.6%減)	15億5221万3千円 (1.9%増) 14億8604万9千円 (4.9%減)
下水道事業	収益的収入・支出 26億6852万5千円 (0.8%減) 資本的収入・支出 5億817万3千円 (121.1%増)	24億999万0千円 (5.1%増) 11億6514万1千円 (6.5%増)

歳入では、個人市民税や法人市民税など、市税の減収を見込んでいます。歳出では、小・中学校の外壁などの改修工事が完了したため、普通建設事業費(公共施設などの建設費)が大幅に減少しました。☆詳しくは、財政係へ。

歳入 ～国庫支出金や繰入金などは増加、市税などは減少～

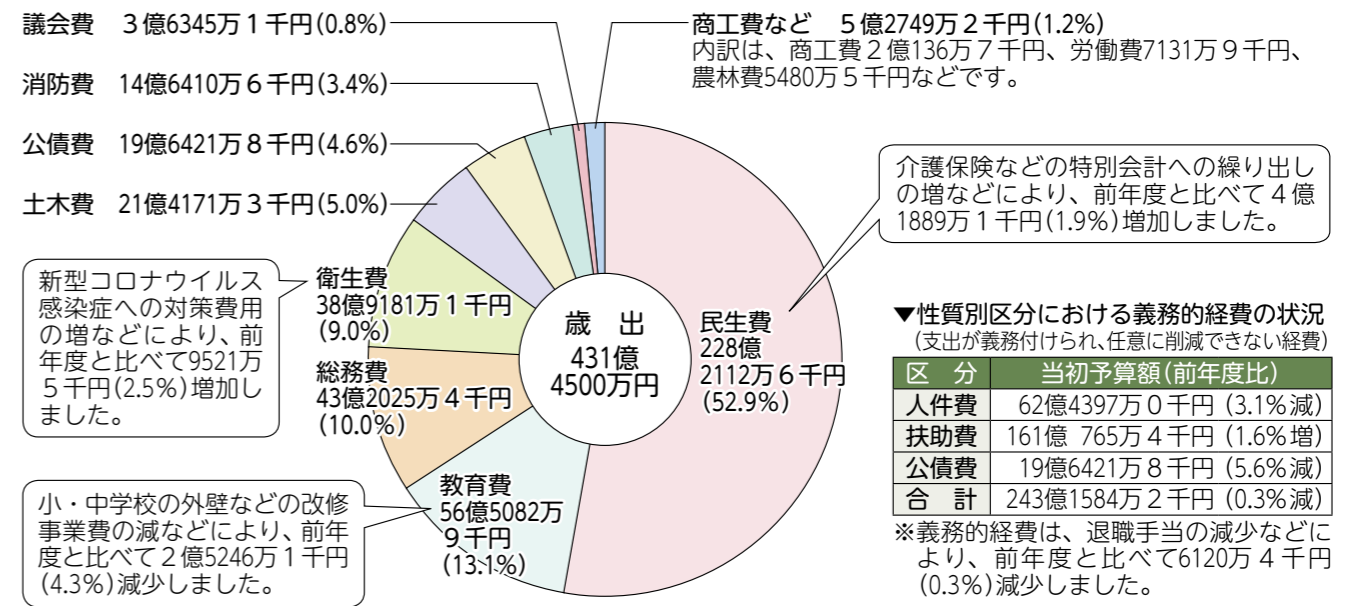


歳入額を市民一人当たりに換算すると… 37万9958円

項目	金額
市税 市民税、固定資産税・都市計画税などの税金	16万3393円
国庫支出金・都支出金 特定の事業のために国や都から支出されるお金	14万1501円
市債 市が建設事業を行うために国・都・銀行などから長期にわたり借り入れるお金	1万1043円
使用料及び手数料 自転車等駐車場など市の施設の使用料、住民票や税証明書などの発行手数料	7656円
その他 *繰入金=基金や特別会計から一般会計に繰り入れられるお金 *地方交付税=地方公共団体間での財源の均衡化を図るために、国から交付されるお金 *分担金及び負担金=保育料など、市が行う特定の事業により利益を受ける人が、その事業のために支払うお金 *各種交付金など=各種法令で定められた一定基準によって国や都から市へ配分されるお金 *諸収入など	5万6365円

※3年1月1日現在の人口11万3552人をもとに算出

歳出 ～普通建設事業費や公債費などが減少～



歳出額を市民一人当たりに換算すると… 37万9958円

項目	金額
民生費 障害者や高齢者に対する社会福祉、児童福祉、生活保護などの費用	20万975円
教育費 小・中学校教育、社会教育、市民会館・公民館活動などの費用	4万9764円
総務費 庁舎管理、徴税、統計、選挙事務、戸籍、住民登録などの費用	3万8047円
衛生費 ごみ処理、保健衛生、予防接種、環境衛生などの費用	3万4273円
土木費 道路の新設・維持管理、公園の維持管理などの費用	1万8861円
公債費 市債(市が借り入れたお金)の返済のための費用	1万7298円
消防費 消防活動、災害対策などの費用	1万2894円
その他 市議会運営、労働、農業、商工振興、観光などの費用	7846円

※3年1月1日現在の人口11万3552人をもとに算出



知の拠点 アキシマエンス
市民図書館では、蔵書の充実を図るとともに、電子書籍サービスや移動図書館「もくせい」の有効活用を図ります。市民図書館を活用した調べ学習、学校図書館への支援など、学校教育

生涯学習

学校給食共同調理場の整備
中学校で、親子調理方式(※)への移行に向けた給食施設の改修工事などを実施します。また、新たな共同調理場の実施計画を行います。



と連携しながら子ども読書活動の推進に努めます。また、郷土資料を通じた郷土への愛着心を醸成します。アキシマワジラの化石発見から60周年を迎える本年8月には、郷土資料室で実物の化石を展示する企画展を開催し、アキシマワジラの魅力を市内外に広くアピールします。

スポーツ

地域共生社会の中心となる施設として、近隣のKOTORIホール(市民会館)・公民館と連携を図りながら、質の高い文化・芸術の推進に取り組みます。

市民の誰もが安全で安心してスポーツに親しみ、楽しめる事業に取り組みます。また、老朽化した総合スポーツセンターについては、計画的に改修を実施します。

※7 調理施設を持つ学校が、持たない学校の給食も調理し、配達する方式